

役員会だより

2017年(H.29)11月21日

事業部企画

外国人日本語生徒との研修バス旅行のご案内

今回、野木町国際交流協会では、事業部がおこなっている野木町在住の外国人を対象とした「日本語教室」の外国人生徒のみなさんと彼らに日本語を教えている日本人の先生方を中心に、初の試みとして国際交流の場を兼ねた日帰りの研修バス旅行を企画しました。

外国人との交流チャンスでもありますので、日本語教室のみなさんだけでなく、国際交流協会の会員の皆様にも広げることとしました。人数に限りはありますがご参加をお待ちしております。

研修バス旅行の実施要項



1. 日時 : 2018年1月21日(日)
2. 集合場所 : 野木駅東口 午前7時
3. 当日の予定
7:30 野木駅東口出発
9:30 JAXA 到着後、JAXA 館を見学(身分証明書の提示あり)
12:00 昼食(JICA のレストランを予定)
15:00 益子着、見学および買物等
19:00 野木駅東口到着予定 解散
4. 費用負担 : 各自の昼食代は負担願います。
5. 申込締切 : 11月30日(木) ※なお、人数に限りがありますので、
先着7名様迄とさせていただきます。
6. 申込先 : 事務局の関根までメールか電話でお願いします。
e-mail : kalhana2178@yahoo.co.jp
tel : 0280-57-9631

ちょこっとガイド

- ① JAXA とは・・・宇宙航空研究開発機構のことで、日本の航空宇宙開発政策を担う研究開発機関です。筑波宇宙センターは、①宇宙からの目となる人工衛星の開発・運用とその観測画像の解析。②「きぼう」日本実験棟を用いた宇宙環境利用や、宇宙飛行士養成と活動推進 ③ロケット・輸送システムの開発と技術基盤確立のための技術研究推進を進めています。

宇宙探査機『はやぶさ』が小惑星「イトカワ」に到着し、試料を持ち帰るという夢のようなことを成し遂げてきました。2003年に発射され、『はやぶさ』自身のエンジン故障に陥ったり、大変な危機的状況になりながら、2010年にカプセルのみが地球に帰りました。みんなが拍手喝さいをしたのは記憶に新しいところです。

- ②益子焼は、江戸時代に大塚啓三郎が、窯を築いたことに始まります。優れた陶土を産出することと、大消費地東京に近いことから発展しました。作風は、多種多様です。ここで活躍した人たちに濱田庄司、島岡達三氏らがいます。

(以上、事業部下田記)

事業部から

1. 文化祭展示発表部門の報告

- ・今回、初めての試みとして外国人生徒（アメリカ・オーストラリア・インドネシア）から写真を提供してもらい、観覧者の方々に投票をしてもらいました。投票数92票。投票結果は1位がサザー由美子さん（アメリカ）の砂漠、2位がインドネシア人の桜、3位がインドネシア人のヒマワリ・フェスタの写真でした。企画の評判も良かったので、次につなげたいと思います。

2 日本語教室のOpen class day 構想について

- ・日本語教室を開放して一般の人に見学してもらおうという企画である。3/11（日）の実施で検討。

情報交流部

1. 協働講座「野木町煉瓦窯英語ガイド養成講座」の報告

- ・10月より、初級と中級が始まった。受講者は初級が7、8名、中級が十数名。最終回の11/18午後には実際に煉瓦窯での英語によるガイド実習を行いました。

2. 来期の野木町との協働講座について

- ・今年度は公民館でも英会話ラウンジを行っているので、来期は重なる部分のある幼児向けの絵本の読み聞かせは止める。その他の「おもてなしの英会話」、「煉瓦窯英語ガイド養成講座」、「大人のための世界史講座」を行う予定。

事務局より

1. 文化祭模擬店の総括

- ・模擬店でははじめてインドのチャイとエスニック・クッキーのセット 200円で販売しました。生憎の天気のため、40杯程度の売り上げでしたが、採算も十分に取れ、しかも、ふだん飲まれることないスパイスの効いたミルク・ティーと珍しいクミン味のクッキーに評判も上々でした。
- ・なお、今回の模擬店はカンボジア井戸支援のための募金活動として行いましたが、今回の募金額は3,750円、現在までの募金総額は17,233円となりました。

2. 来年2月の野木町公民館まつり（2/17、2/18）は、模擬店と生花体験教室を例年通り行うことになりました。模擬店は甘酒の販売を予定しています

※記事に関する問合せ等は下記までお願いします。

TEL 0280-57-9631 / E-mail : kalhana2178@yahoo.co.jp

野木町国際交流協会事務局 関根秋雄